

		社会人リカレント教育 履修モデル	ビジネスリーダー養成 履修モデル	博士課程進学 履修モデル *マーケティングの場合	修了要件 (修得単位)	
活躍が期待される進路		▶原職復帰 ▶キャリアアップ ▶ジョブチェンジ	高度なマネジメント力を有する ▶ビジネスリーダー	経済理論の実践的研究に携わる ▶博士課程進学者		
授与される学位		修士(経済学)	修士(経済学)	修士(経済学)	30以上	
修了審査		公開成果発表会・審査・最終試験(口頭試問を含む)			単位	30以上
		リサーチペーパー	修士論文	修士論文	単位	
6	研究指導 各分野の深い専門知識と実践的研究力を活かし、研究成果をまとめる。	●プロジェクト実践研究	●産業システム創成研究指導	●産業システム創成研究指導	4	4
5	キャリア形成科目 高度な専門知識を活かして社会で働くことの意義、専門知識の実践的な展開について学ぶ。	◆実践力育成特論 ★リーダーシップ論 ★産業システム創成演習(専攻共通演習)	◆インターンシップ実践 ◆実践力育成特論 ★リーダーシップ論	◆実践力育成特論 ★リーダーシップ論 ★産業システム創成演習(専攻共通演習)	21 他コース・他専攻・他研究科目は5単位まで 充当可能	
4	専門科目(実践科目)*1 各分野の専門知識を実践し、探究力・実践力を身に付ける。専攻共通演習で、地域産業の多様な課題をコース横断的に考察し、課題解決力を身に付ける。	●財務・金融プロジェクト研究 ●情報・数理プロジェクト研究	★産業システム創成演習(専攻共通演習) ●経済理論プロジェクト研究 ●経営・管理プロジェクト研究	●市場・流通プロジェクト研究 ●経営・管理プロジェクト研究 ※専門分野を中心に履修し、高度な専門的知識及び研究能力の獲得を目指す。	1	*1:プロジェクト研究は1単位選択必修、最大2単位まで認定 *2:専門科目(理論科目)は、理論基礎の1と応用の2で構成(各1単位)
3	専門科目(理論科目)*2 研究目標と履修計画に基づいて必要な専門知識を深める。	●戦略的経営 ●ミクロ経済学 ●原価計算論 ●マーケティング ●情報産業論 ●生産管理論 ●経営管理論 ●国際金融論 ●社会統計学	●戦略的経営 ●財務会計論 ●情報管理論 ●数理経済学 ●西洋経済史 ●経済政策	●マーケティング ●戦略的経営 ●経営管理論 ●生産管理論 ●情報管理論 ●情報産業論 ●財務会計論 ●原価計算論		
2	専攻基礎科目 産業システム創成専攻における学究の基礎・スキルを身に付ける。	★定量分析基礎 ★マネジメント基礎 ◆プロフェッショナル・リサーチ&ライティング			1	2
1	研究科基礎科目 人文社会科学研究科に必要な基礎的な知識等を身に付ける。	●人文社会科学総合(法学) ●人文社会科学総合(人文学) ●人文社会科学総合(地域産業社会) ●研究フィールド実践			1	3